

「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」について

長野県教育委員会

すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現をめざして

新たな学びの推進

1 すべての高校が、これからの時代に必要とされる力を生徒に育む新たな学びに転換します。

(1) 「探究的な学び」の推進

- 「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力等」や「主体性を持って多様な人々と協働的に学ぶ態度」を育む学びの推進

(2) 各校の学びを体系的に示す「3つの方針」の策定と運用

- 「3つの方針」をすべての県立高校で策定
- 「生徒育成方針」
 - ・卒業までに生徒にどのような力をつけるのかを示す
- 「教育課程編成・実施方針」
 - ・学校全体として教育活動をどのように展開するのかを示す
- 「生徒募集方針」
 - ・入学を希望する生徒へのメッセージとして、どのような生徒の入学を待っているか、どのような学校でどのような学びができるかを示す
- 「生徒育成方針」の実効性を検証するフィードバックシステムの構築（卒業生進路先への調査等）

(3) 入学者選抜制度の改革

2 夢に挑戦できる多様な学びの場、学びの仕組みを整備充実します。

(1) 多様な学びの場の整備充実

- 総合学科高校、総合技術高校、多部制・単位制高校の充実・拡大、通信制の改革
- モデル校方式による新たな学びの場の創造

(2) 多様な学びの仕組みの整備充実

- ICT活用の推進
- 高校間連携・高大連携の推進
- 特別支援教育の充実
- デュアルシステムの拡大等

3 新たな学びにふさわしい環境を整備します。

(1) 学習環境・生活環境の整備

- 再編に係る施設・設備の整備
- 既存校も計画的に整備（空調設備・洋式トイレ等）

(2) ICT環境の整備と充実

(3) 新たな学び推進のための人的配置

- ICT支援員等の外部人材・専門人材の活用

再編・整備計画

4 さらなる少子化の進行に的確に対応します。

- (1) 都市部（近距離に複数校、学びの場が確保できる）
 - 小規模校分立を回避、教育効果・投資効果を最大化
 - 新しい時代にふさわしい新しい学校を再編・整備
- (2) 中山間地（学びの場の保障が必要）
 - 魅力的な学びの場の創造に向けて、地域と協力して最大限の努力

5 多様な学びの場を全県に適切に配置します。

- (1) 配置の基本的な考え方
 - 地域全体及び県全体の高校の将来像を総合的に検討
- (2) 校種ごとの配置の考え方
 - 普通高校、定時制高校 旧 12 通学区を基本に配置
 - 専門高校 旧 12 通学区を基本に、より広域にも配置
 - 総合学科高校 4通学区を基本に配置
 - 多部制・単位制高校 4通学区を基本に配置
 - 通信制高校 東北信・中南信への配置を基本に、サテライト校の配置等も含めて検討
- (3) モデル校の配置の考え方
 - モデル校の特性と全県のバランスを考慮して配置
- (4) 広域の検討が必要な場合の配置の考え方
 - 地域の意見も聞きながら県教育委員会が広域的・多角的に判断
- (5) 再編こともなう校地・校舎等の後利用の考え方
 - 地域の意見も聞きながら、有効活用できるように検討

6 地域での検討を踏まえて「再編・整備計画」を確定し、再編を実施しない既存校も含めて計画的に整備を進めます。

(1) 地域での検討

- 「高校の将来像を考える地域の協議会」を設置

「高校の将来像を考える地域の協議会」

- 2019年9月までに旧 12 通学区ごとに順次設置
- 旧通学区内の将来を見据えた高校の学びのあり方と具体的な高校の配置について検討
- 県教育委員会に対して意見・提案

(2) 「再編・整備計画」の確定

- 「協議会」の意見・提案を踏まえ、全県の視野に立って確定

スケジュール

令和2年（2020年）3月「再編・整備計画（一次分）」策定

令和3年（2021年）3月「再編・整備計画」確定

高校改革は地域振興や県発展の大きな礎であると捉えて、教育委員会のみならず県の組織全体で取り組みます。

旧12通学区別中学校卒業予定者数の予測（2019年～2034年）

資料2

長野県教育委員会 高校教育課

(単位：人)

	2019年 R1 (A)	2020年 R2	2021年 R3	2022年 R4	2023年 R5	2024年 R6	2025年 R7	2026年 R8	2027年 R9	2028年 R10	2029年 R11	2030年 R12	2031年 R13	2032年 R14	2033年 R15	2034年 R16 (B)	2019年と 2034年との 増減 (B)-(A)	2019年に対 する2034年 の比率 (B)/(A)
1区	255	265	249	252	231	242	170	223	215	181	188	193	188	175	168	167	-88	65%
2区	1,165	1,059	1,028	1,088	1,149	1,066	1,058	1,013	1,017	968	955	926	861	850	820	768	-397	66%
3区	2,582	2,567	2,378	2,458	2,383	2,369	2,251	2,334	2,190	2,141	1,959	1,993	1,997	1,952	1,917	1,767	-815	68%
4区	1,986	1,883	1,841	1,882	1,854	1,825	1,703	1,668	1,750	1,641	1,508	1,552	1,553	1,469	1,485	1,322	-664	67%
5区	1,799	1,826	1,740	1,713	1,750	1,720	1,631	1,671	1,649	1,609	1,513	1,523	1,482	1,362	1,385	1,295	-504	72%
6区	1,949	1,874	1,804	1,893	1,811	1,765	1,753	1,795	1,679	1,661	1,641	1,506	1,529	1,484	1,517	1,375	-574	71%
7区	1,773	1,770	1,769	1,781	1,716	1,747	1,632	1,597	1,583	1,567	1,503	1,439	1,480	1,447	1,375	1,286	-487	73%
8区	1,823	1,728	1,712	1,762	1,775	1,680	1,720	1,579	1,615	1,523	1,511	1,518	1,412	1,421	1,287	1,208	-615	66%
9区	1,555	1,560	1,476	1,479	1,555	1,455	1,387	1,448	1,401	1,357	1,330	1,223	1,250	1,197	1,207	1,078	-477	69%
10区	203	213	207	190	195	168	195	180	173	157	170	149	147	141	115	121	-82	60%
11区	4,007	3,854	3,907	3,900	3,884	3,860	3,652	3,652	3,601	3,513	3,408	3,416	3,385	3,371	3,165	3,003	-1,004	75%
12区	533	479	448	441	470	447	413	404	423	377	358	388	351	321	303	284	-249	53%
県全体	19,630	19,078	18,559	18,839	18,773	18,344	17,565	17,564	17,296	16,695	16,044	15,826	15,635	15,190	14,744	13,674	-5,956	70%

注) 2028年までは、2019年度学校基本調査による数。2029年以降は、2019年度長野県人口異動調査による数。

旧第6通学区(佐久地域)中学校卒業生数の予測

資料3

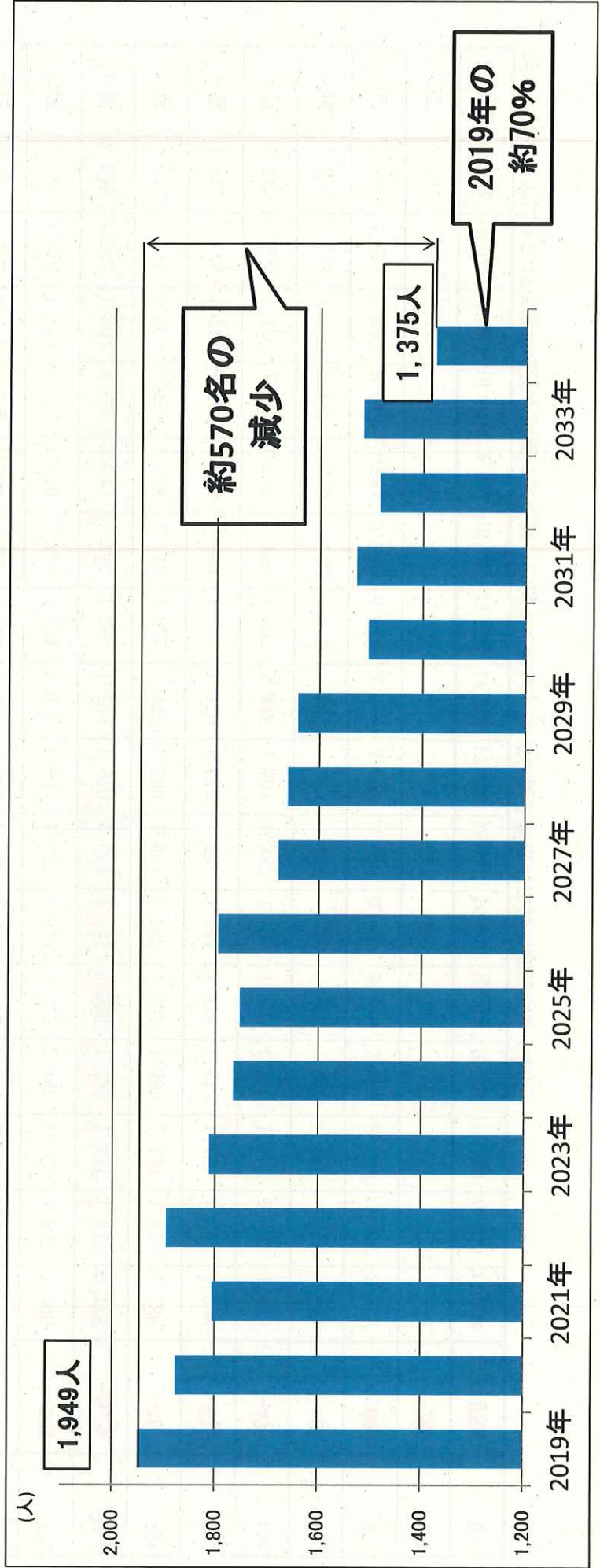
長野県教育委員会 高校教育課

(単位：人)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2019年と2034年との増減	2019年に対する2034年の比率
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16		
6区	1,949	1,874	1,804	1,893	1,811	1,765	1,753	1,795	1,679	1,661	1,641	1,506	1,529	1,484	1,517	1,375	-574	70.5%
前年度比増減	—	-75	-70	89	-82	-46	-12	42	-116	-18	-20	-135	23	-45	33	-142		

注) 2028年までは、2019年度学校基本調査による数。2029年以降は、2019年度長野県人口異動調査による数。

(2019年8月作成)



佐久地域 各高等学校の状況について

【全日制課程】

高校名	1 「探究的な学び」の取組について (授業改善や課題解決型学習等の取組について)	2 「信州学」の取組について	3 具体的な地域との連携について
蓼科	<ul style="list-style-type: none"> ○長野大学との連携協定による地域課題解決学習 ○学校設定科目「地域Ⅰ・Ⅱ」：地域住民との共同活動、体験による地域の魅力発見、地域貢献意識とともにも課題意識の醸成 ○地域の発展策について、班ごとに研究発表 ○町主催の地域課題解決事業への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な探究の時間「蓼高タイム」の取り組み ○町の連携による各種実習、体験、ボランテア活動(キヤリア教育と肯定感の育成) ○地域住民や研究者を外部講師とした「蓼科学」 ○人物、歴史、自然の系統学習 ○町の名所や文化財、産業等の調査と成果発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○町営学習塾「ボアアカデミー」による学習連携 ○塾生を講師とした住民対象の英会話教室開催 ○町の幼小中との合同行事、授業視察・連携 ○笠取峠合同清掃、職員合同人権研修、授業公開、算数・数学での教員交流による授業連携 ○町、商工会など各種イベントや祭りへの参加
望月	<ul style="list-style-type: none"> ○コース別授業展開(進学・福祉・総合実践) ○総合実践コースでの科目横断型授業展開 ○外部講師による地域連携型授業「望月学」実践 ○福祉コース福祉施設との交流授業の実践 ○地域公開型授業の実践 ○「望月学」の授業公開 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校設定科目「望月学」での地域理解と課題発見 ○歴史、文化、自然、ものづくり体験等(2年) ○課題テーマ別学習(3年) ○まとめ・学習発表・報告書作成(全学年) ○「総合的な学習の時間」において「進路の日」設定、大学・企業見学と探究活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○町内清掃(警察署、防犯協会、アヒンズクラブ) ○性教育講演会(保健師、警察) ○朝の挨拶運動(同窓会、望月教育プラットフォーム) ○地域交流部ひばりヶ丘太鼓(望月太鼓) ○いのちの駅伝(佐久市) ○学校設定科目「望月学」(望月地区全域)
小諸商業	<ul style="list-style-type: none"> ○科目「課題研究」の取組(3年生全員) ○起業家教育(ビジネスアイデアの育成) ○グループワーク形式の授業を組み入れ、発表会には、招聘した外部有識者から助言 ○金融教育研究校としての実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○「スマイル小商店街」を通じた販売実習及び成果発表等 ○「小諸未来義塾」における主催者教育の実践 ○食をとおして地元を考える食育実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○丸山珈琲、上田信用金庫等、企業との連携 ○マネープラザの計画・地元企業主による講演 ○地元幼稚園・小学校・中学校との連携 ○大原学園等、高等教育機関との連携
小諸	<ul style="list-style-type: none"> ○小諸市施設、地域企業、保育園等での就業体験 ○活動と発表会(1学年) ○興味関心のある地域企業、市内施設等を訪問しでの職業調べとボスターセッション(2学年) ○ICTと図書館を活用した授業改善 ○「朝読書の時間」の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校設定科目「小諸学」(3学年) ○小諸市役所職員を講師に招き、経済、観光、教育の各分野について講義を受けての探究学習 ○1学年就業体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒・職員・PTA・学校評議員による三者協議会(生徒主催)での意見交換 ○小諸市・小商との連携事業、小諸未来義塾 ○小諸市「音楽の街」事業演奏会 ○地域幼・保育園との連携(実習、演奏会等) ○小諸市各種イベントへの協力(演奏等)
軽井沢	<ul style="list-style-type: none"> ○学校設定科目「軽井沢学」3年 ○地域創生政策アイデアコンテストへの応募 ○「総探」1年就業体験、成果発表会 ○「デュアルシステム」3年7単位の実施 ○学校でのビジネス基礎教育と事業所での年18回の実習から社会人としての基礎基本を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ○グローバルスタディ科目「軽井沢学」「観光」「プレゼンテーション」3年 ○軽井沢ならではの学びの推進、成果の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○軽井沢町内小中高7校連携協定・G20への協力 ○公設塾「軽井沢町学習センター」の開設と連携 ○「デュアルシステム」7単位の実施と成果発表会 ○生徒会のFM軽井沢「軽高1.5時限目」OnAir ○軽井沢ロータリークラブ「グアム交換派遣事業」 ○「総探」1年「就業体験」地元企業事業所の協力
佐久平総合技術	<ul style="list-style-type: none"> ○専門学科の「課題研究」の取組(農・工・総合の農工系) ○総合学科のキャリア教育での探究学習 ○学科間連携の学校設定教科(農・工) 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の農水産物を生かした商品開発の学習(弁当・洋菓子・清酒・焼酎など) ○水田での小鮎の養殖と減農薬栽培による農業・食文化学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○全生徒が地域の企業等で就業体験 ○地域の企業・農業関係者等からの支援(講師・体験学習) ○地域の催しへの積極的参加・出展・出店、岩村田商店街でチャレンジショップ(農産物・加工品直売所)の運営

3 具体的な地域との連携について		2 「信州学」の取組について		1 「探究的な学び」の取組について (授業改善や課題解決型学習等の取組について)	
岩村田	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が主体となって懇談会を実施 ・岩村田商店街の活性化 (商店街代表の方) ・佐久市の課題と将来像 (市議会議員の方) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学びのテーマを「佐久」とし、地域、地域の文化を知ることから、地域がかかえる課題、将来についてまで「探究」する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究の時間」における「問題解決型」課題解決型学習への取組 (1・2学年) ○電子黒板、タブレット活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の時間において「問題解決型」課題解決型学習への取組 (1・2学年) ○電子黒板、タブレット活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究」(総合的な探究(学習)の時間)における、歴史・文化、産業・経済等の課題に関する調査、考察、発表
野沢北	<ul style="list-style-type: none"> ○野沢中学校への学習ポラントへの参加等 ○地域との連携によるイベントへの参加等 ・児童館でのコンサート、まちじゅう音楽祭、浅間中学校のコンサート参加 (合唱班) ・生徒による中学生への指導、中学校と合同発表会、地域ダイサービス等参加 (吹奏楽班) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究」(総合的な探究(学習)の時間)における、歴史・文化、産業・経済等の課題に関する調査、考察、発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○理科の「課題研究」、普通科の「探究基礎」及び「探究」における「探究的な学び」推進 ○県の「未来の学校」構築事業における研究校(スパー探究校)として、卓越した探究的な学び推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○理教科の「課題研究」、普通科の「探究基礎」及び「探究」における「探究的な学び」推進 ○県の「未来の学校」構築事業における研究校(スパー探究校)として、卓越した探究的な学び推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究」(総合的な探究(学習)の時間)における、歴史・文化、産業・経済等の課題に関する調査、考察、発表
野沢南	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の広報「野沢南だより」の地域内回覧 ○地元地域のイベントへのポラント参加 ○地域の有識者を招いての分野別懇談会「ようこそ先輩」 ○近隣区長や地域住民との将来像についての意見交換会 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域商店街をテーマにした探究学習 ○企業見学と探究活動 (1年・2年) ○地域の活性化に向けた調査研究 ○地域の特徴や特産物を生かした地方創生をテーマにした取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○RESASを活用し、探究的学習を推進 ○グループで探究、ワークショップを実施 ○「朝読書」の時間を設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業の調査研究と発表 ○「総合の日」における探究活動 ○探究的な授業の公開や研究授業 	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究」(総合的な探究(学習)の時間)における、歴史・文化、産業・経済等の課題に関する調査、考察、発表
小海	<ul style="list-style-type: none"> ○5校ポラント (小中学校) や大学連携 ○南佐久の小学生のための高校探検 ○駅清掃等のポラント活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○信州・未来の人づくり塾の開催 ○「総合的な探究の時間」への外部講師招聘 ○地元の医療・教育機関への就業体験 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産業の調査研究と発表 ○「総合の日」における探究活動 ○探究的な授業の公開や研究授業 	<ul style="list-style-type: none"> ○「総合的な探究の時間」への外部講師招聘 ○地元の医療・教育機関への就業体験 	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究」(総合的な探究(学習)の時間)における、歴史・文化、産業・経済等の課題に関する調査、考察、発表

【定時制課程】

3 具体的な地域との連携について		2 「信州学」の取組について		1 「探究的な学び」の取組について (授業改善や課題解決型学習等の取組について)	
小諸商業	<ul style="list-style-type: none"> ○学校周辺地域の清掃活動 ○障害者支援施設との連携 (ポラント、グループ活動、各種交流) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ビジネス経済応用」において地元産業の現状を信州大学で学び、地域交通の現状と課題について外部講師による講演 	<ul style="list-style-type: none"> ○科目「課題研究」の取組 (4年生全員) ○ICT機器を活用した双方向型の授業実践 ○観察や実験による主体性を育む実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○「総合的な探究の時間」において地元産業の現状を信州大学で学び、地域交通の現状と課題について外部講師による講演 	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究」(総合的な探究(学習)の時間)における、歴史・文化、産業・経済等の課題に関する調査、考察、発表
野沢南	<ul style="list-style-type: none"> ○「信州学」の取組の中で地域の外部講師を招いて「佐久の食」と題した体験型授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な探究の時間や家庭基礎と連携して「医・職・食・住」から「佐久を知る」として生徒各自のテーマを最終的にプレゼンする取組実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科とも「授業のユニバーサルデザイン化」の共通目標を立て、「だれもがわかる授業」への向け授業改善の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究」(総合的な探究(学習)の時間)における、歴史・文化、産業・経済等の課題に関する調査、考察、発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○「探究」(総合的な探究(学習)の時間)における、歴史・文化、産業・経済等の課題に関する調査、考察、発表